

# やいた未来ミーティング（子育て世代）会議録

日 時：令和元年9月17日（火）

19：00～21：00

場 所：沢環境改善センター

出席者：市長

豊田小学校PTA役員 6名

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

平成28年7月から2年間をかけ、矢板市内65行政区で「未来づくり懇談会」を行った。1,100名を超える市民の方から意見や要望があったが、参加者の8割は60歳以上という状況であった。それを受けて平成30年度は「未来づくり懇談会」を補完する形で、子育て世代や市内3つの高校生、矢板市PTA連絡協議会を対象とした「やいた未来ミーティング」を10回開催した。今年度は、小中学校単位で開催し、意見や要望を聞かせてもらいたい。

3 説明事項

「矢板市子ども未来基金の創設について」

市長

この基金を始めたきっかけは、子ども医療費助成制度の問題からスタートした。矢板市では、平成24年度から高校3年生まで医療費の無償化をしているが、無償化の方法としては、医療機関の窓口で支払い後、手続きをしてお金が戻ってくる償還払方式。

近年、栃木県内の市町では、医療機関の窓口で支払いが必要ない現物給付方式が増えてきたことから、矢板市としてどうするかを平成30年度に検討を行ったところ、同じ医療費の無償化でも、現物給付方法にすることで、矢板市の負担額が大幅に増えることがわかった。

理由としては、病院に行くほどでもない病気等であっても受診してしまう医療のコンビニ化や、国の負担金や県の補助金の減額がある。また、他の医療費助成制度を利用しなかったり、各種健康保険の付加給付が受けられないなどがあった。他にも小中学生など加入している、日本スポーツ振興センター保険を手続きが面倒くさいと言って利用しないなど複数の要因がある。

現物給付を行っている市町の医療費の伸びを見て試算したところ、中学3年生まで現物給付を拡大した場合には年間4,500万円、高校3年生まででは年間6,200万円も負担が増えることが確認された。

これらの要因を踏まえ検討した結果、市としては現物給付ではなく、中学3年生まで

拡大した場合の4, 500万円をもっと違った使い方にしようと、子ども未来基金を創設し、子ども子育て支援に繋がっていくような取り組みをしようと決断をした。

基金の用途については、平成31年2月から3月にかけてPTA役員にアンケート調査を実施し、1番多かった給食費の助成と4番目の小中学校の学用品購入の助成とした。2番目に多かった予防接種の助成拡充については、平成31年4月からインフルエンザの予防接種の助成年齢の拡大が1月の時点で決定していたことから除外とした。3番目の学校施設の整備や備品購入についても、具体的な内容を聞いてみたところ、エアコンの設置であった。エアコンの設置についても、1月の時点で全ての小中学校の普通教室にエアコンを設置することで決定していたことから除外とした。

本年度は、基金4, 500万円の3分の2となる3, 000万円くらいを使用する。

また、償還払い方式の利便性向上として、我々の努力不足もあったかもしれないが、平成30年度に実施した懇談会で、1レセプト500円かかるとか、申請方法が複雑、郵送申請についても意外と知られていなかったことから、平成31年4月から子ども医療費の申請書類と郵便受取人払いの封筒を医療機関に設置することとした。

償還払いは面倒だと思う方は多いと思うが、まだまだ利便性を向上できるのではないのかと思っているので、市では現物給付の対象年齢を引き上げないという選択をした。

その上で限られた財源用途を、引き続き皆さんをはじめとする小中学生の保護者の方から声を聞きたい。年度末にはもう少し広い範囲でアンケート調査をしたいと考えている。ムリ、無駄のない「矢板モデル」という医療費助成の制度や、子育て支援制度を確立していきたいと考えている。

### 3 意見交換テーマ

「子育てしやすいまちづくり」

市長

テーマに入る前に材料を提供したい。本年度の矢板市立小中学校5大ニュースということで、一つ目は全国学力テストで市内の小学6年生が昨年につき、全教科で全国平均を上回った。全国学力テストは、全国の小学6年生と中学3年生を対象に毎年実施をしているが、市内の小中学生は昨年度まで、県の平均はもとより、全国平均で上回ることはなかった。昨年度の全国学力テストでは、教育委員会のいろいろな取り組みが功を奏し、小学6年生の国語A・B、算数A・B、理科の全ての教科で県平均、全国平均を上回った。本年度も小学6年生は全教科で全国平均を上回ったところ。今の教育長になってから、学校での授業改善の努力と家庭学習の取り組みの成果が具体的な形になってきたと思っている。今後ともさらなる学力向上に取り組むと共に、中学3年生については全国平均を全教科で上回ったことがない状況なので、中学生の学力向上に結びつけたい。

2つ目は、全ての小中学校普通教室にエアコン設置ということで、6月末までにエアコン設置をした。

3つ目は、トイレの洋式化。平成28年の洋式化率は24.2%。県内25の市町で最下位。平成29年度に矢板中学校の整備、本年度は東小学校での工事が間もなく始ま

る。また、矢板小学校分も国の予算が付いて、年度内に整備を進めていく。

4つ目は未来基金。5つ目は、小中学校の適正規模・適正配置の建議だが、現在、計画づくりが内部で進められている。

Q1

市長

医療費助成については、我々の努力不足もあったかもしれないが1レセプト500円引かれるとか、申請方法の簡素化など。郵送申請は今までOKだったが、意外と知られていなかった。知っていたか？

保護者

知っていたが、不備があったらまた面倒くさいので行ってしまった方が。

市長

どうですか？知っていましたか？

保護者

知らなかった。

市長

どうでしたか？

保護者

知っていた。

市長

以外と他のPTA役員のみなさんに聞いても知らないという意見が多かった。まずは、知ってもらうため、医療機関の窓口从今年4月からピンクの用紙を置いてもらうことにした。あとは、料金受け取り人払いの封筒を置いている。

保護者

郵便局行くまでに市役所に行けると思う。

市長

現物給付が一番簡単で手軽だというのは分かっている。その分、多少なりとも市としても努力をするし、皆さんにも少しお手伝い頂く中で、少しでも学校給食費の無償化に近づけるとか、学用品の集金袋が来て支払っている負担を軽減するとか、現物給付にする前にいろいろ努力すべき事はあるのではと思っている。

保護者D

宇都宮の医療機関に連れて行くと、必ず手帳を出してと言われる。

保護者

あっちは現物だから。

保護者

矢板市がないと言うのが面倒くさい。

保護者

友達などに支払っていることにびっくりされる。

保護者

私は別に現物支給でなくてもいい。

保護者

結局無料だから。

保護者

申請に行けばいいから。市役所としてみたら忘れて申請に来なかった人がいれば払わなくていい。

保護者

確かに。年間1～2万円だったら行かないと思う。

保護者

そういう人がいるから矢板市としては現物しない方がいい。税金も少なくなる。

保護者

現に少なくなっているのか。

市長

これで税金が安くなるかとか、1万円ぐらいならいらぬとか、結果として申請を忘れたというのもありうる。現物給付した近隣市では医療費が1.8倍ぐらいに増えている。

Q2

保護者

未来基金の給食費よりも、教材は払わなくていいならいい。

保護者

教材はいい。2千何百何十何円とか。

保護者

何百何十何円だけでも出してもらえると朝慌てなくていい。千円単位とかにしてくれるといい。

保護者

給食費は自分たちで食べたものなので自分たちで払おうと思う。大田原市はそれをして大変な事になっている。実家が大田原だが、山の中でも都市計画税とか払う。なので、自分が食べたものは払った方がいいと思う。

市長

その分だったら教材費に全部入れ込んで

保護者

教材費の毎月かかるのがなくなった方が私はいい。

保護者

後はインフルエンザが1,000円引きではなく、1,000円で受けられるといい。

保護者

うちは2人居て、2回ずつ打つと何万にもなるから行かなくなってしまう。かかった時に脳症とかになるというのはあるが。脳症は数%のしかならないと思ってしまう。

市長

1年目なので、アンケート結果を尊重してバランスを取った感じにしている。

保護者

インフルエンザの助成を千円で受けられるのがいい。インパクトがある。予防接種は大体、三千何百円か払っているところが千円になったらうれしい。

保護者

病院によって金額が違う。

市長

学校の先生からするとどうなのか？教材費をなくしたほうがいいのか？先生方も集金を集めるのは大変か。

保護者

事務の先生も負担。自分達で払うのが修学旅行や遠足代だけなら楽。

市長

現金もって行くのは大変というか面倒？

保護者

面倒というか小銭の問題。1円が無いから何かを買ってくずしている。

保護者

今時、ペイペイとか時代に1円玉を。

保護者

教材費の電子マネー化に。子どもにカードを持たせて。ペイペイとか。

市長

それは凄いかもしれない。システム開発がどうか。

保護者

お医者さん行くのと同じ感覚にすればいけないような気がする。

保護者

発達障害とかで病院にかかっている子だけ助成するとかはないのか？1回で1万3千円くらいかかる。

保護者

障害ではないけど、そういう発達障害の子を助成するというのもいいかも。

保護者

すごいお金がかかる。今、発達障害が増えている。月1回薬をもらいに行く、と大体8,000円。その他にリハビリ、アレルギーだからアレルギーの病院にかかってインフルエンザのときは最悪。2万くらいかかるので大変。リハビリもしなくてはいけないし、子どものために連れていくが、費用が膨大にかかってくる。

市長

子どもが発達障害だが、薬代とか高い。

保護者

上の子が風邪や捻挫などといったら2万超えでしんどい。

保護者

うちの子がこの前MR I撮った時には塩谷病院で3万円。

保護者

そこに来て矢小へ通級に通っている。週に1回、その分仕事が遅れる。給料も減る。仕事へも行きたい、連れても行きたい。病院へ行けばお金がかかる。

保護者

いくらまでと上限を決めればいい。うちなんかは病院へ行ったことがないからある程度この金額までは自己負担というような。

保護者

子どもの丈夫さも違う。風邪くらいでは行かない子もいれば。

保護者

歯医者くらいしか行った事がない。

市長

中学生になるとあまり行かなくなる。

保護者

免疫ができてくるのか。

保護者

発達とかはどうなのか？大きくなれば落ち着いてくるのか？

保護者

人にもよる。

保護者

薬が強くなったらその分上乘せ。

保護者

ある程度、金額設定をしてくれれば。

保護者

1万5千円くらいまではいいとかがあれば嬉しい。

市長

気になるお子さんの対応については、矢板市も小さい町なので、各学校に気になる子ども向けの学級を作るとか、特別支援学級を作るわけにはいかない。まだ構想段階だが、矢板健康福祉センターという県の施設を、4,200万円で取得し、ココマチにある子どもの広場や、東小、矢小の児童館の機能を全て持つてくるだけでなく、発達支援のある子どもの支援の機能みたいなものも造れればと思っている。

保護者

集まる場所を求めているのではなく、発達だから通う。

保護者

先生が一回でもこっちに来てくれればいい。

保護者

そっちの方が私はいい。他の発達を持っている子はどうか分からないが。

市長

親御さんがつつじ教室に送っていくのではなく、例えばつつじ教室の通級の子をバスで送って行ったりして、小規模校の行き届かないところをカバーする取り組みはあって

もいいのではないかと思う。部活動にしても、単独で野球やサッカーの大会に出られる規模ではない学校から大きい学校で送っていくなども含めてバスを走らせるなど。

保護者

そういうのがあんなら現物ではなくてもいい。

Q 3

保護者

矢板小の野球部は、人数がいても部活動は成り立たない。野球に入っているのが2人しかいない。

保護者

人は居ても？

保護者

参加する人がいない。送迎やお金の負担、時間の負担を考えると部活に入れられない。そこを各学校と連携して、矢板に2チーム程度作り、各学校から入れさせると言った話を以前に市長としていた。

市長

矢小には今もバス通学の子どもがいる。一巡したらバスを遊ばせておかず、二巡目で豊田小から拾って乗り合いで矢小に届けるとか。帰りは難しいので迎えに来てもらう。

保護者

そうすればふれあいではなく市内の学童にも行ける？

市長

それもいいかもしれない。

保護者

実家が大田原市の湯津上だが、佐良土小から湯津上小に学童のバスが行っている。

市長

佐良土小には学童はないけれどもそこに集約する？

保護者

そういうのを矢板市でも行えばふれあいスクールとかではなく、ちゃんとした学童に入れられることもできる。

市長

ふれあいスクールはどうですか？

保護者

18時で終わってしまうので。

保護者

学童は19時まで。

市長

乙畑は18時30分までにしたと思う。豊田小や乙畑小の放課後子ども教室は私の受け止めとしては成功例だと思っていた。ただ、見守りの人が高齢化してきたので、平成29年度に支援員を入れた。放課後子ども教室は地域の皆さんがボランティアベースで

見てもらうの基本だが、みんな高齢化してきたので専門の支援員がいる。

保護者

先生といえる人がいるのといないとでは全然違うと思う。普通の学童は先生という人がいてみんなとは言わないが、しっかりするイメージ。

市長

乙畑小はボランティアの人がたくさんいるので1人。豊田小は2人だと思うが。

保護者

個人的な意見としては、ふれあいスクールを置くより学童の窓口を広げてもらった方がいいことだと思う。夏休みはスクールが無いので。

市長

西小は夏休みもやっていた。

保護者

各自でどうにかという感じ。

保護者

うちは心配だが、ご飯を作って置いて、ジュースやお菓子も置いておく。わざわざ学童を申し込むのも大変。2人で頑張ってもらっている。

保護者

結局、蓋を開けるとそういう子がいっぱい。

保護者

祖父母がいれば良いが、いつもいるわけでもないし、一緒に住んでいるわけでもない人は、仕事を休むわけにもいかないの、子供達で待っていてもらうしかない。

保護者

夏休み前半は、仕事に行かずにずっと家にいた。

市長

放課後子ども教室のが学童より参加費が安いと思うが関係ない？乙畑は安くていいと。

保護者

安いけど、肝心な長期休みにみてもらえない。

市長

長期休みにみてもらえないのは話しにならない？

保護者

値段が高くても、みてもらえるならそっちの方がいい。

保護者

結局、親が働いていて預けているので払える。

保護者

共働きだから預けたい。

保護者

預ける必要ないなら、平日ふれあいスクールには預けない。

保護者

3年生にならないとふれあいは辞められない。

保護者

兄弟で下校時間が違う。片方がふれあいに行って、お兄ちゃんが学校終わったから2人で帰ろうとすると、ふれあいは親が迎えに行かないと行けないから帰れない。融通がきかない。

保護者

兄弟で合流して帰れるかと言ったら帰れない。

市長

生涯学習課に確認する。

Q 4

市長

統廃合については、具体的な方向は正直出ていない。ただ、小中学校の適正配置の計画の中では、豊田小は統廃合の対象にはなっている。

保護者

いつというのはまだ決まっていない？

市長

決まっていない。とりあえず、来年4月くらいになるが、小中学校適正配置基本計画の中では、何年後とは計画には盛り込まない。第1グループは何年以内とか10年以内などとは入って来ると思う。

保護者

今、年中ぐらいの子がいるとして、豊田小がゆくゆくなくなるのであれば最初から東小に入れたいという人もいる。無くならないのに今からそちらに入れてしまうと、どんどん豊小の人数が少なくなってしまう。入ろうと思っている人たちはかわいそう。

市長

西小の例で言うと、西小は2年半くらいかけたが、正式に廃止が決まった段階で1学年だけは矢小に行ってもいいという判断をした。

保護者

2年生は途中で転校という話になると思うが。

保護者

上に兄弟がいると、別々の小学校へ入れるよりは、今だったら豊田小に入れて何年かしたら二人で。

保護者

豊小に入れたからには豊小で卒業させたい気持ちはある。子どもが6年生で、学校がなくなって転校というのは嫌だ。

市長

西小の時も卒業までいさせたいと話があったが、どんどん新入生は入ってくるので、どこかで区切ると、最後の卒業式がその学年の子どもしかいなくなるなど、閉校のあり方として良いのかとなる。西小の場合は、どこかのタイミングで転校を余儀なくされる保護者やお子さんには申し訳無いが、どこかでそれはきっちりと決めなくてはいけないと

いうことになった。

保護者

例えば、上の子が3年生の時に下の子が入ってくる時は、学校を分けて行かせることになってしまってもいいのか

保護者

兄弟は分けられない。理由がないと子どもは分けられないと聞いた。

市長

そこが難しい。

保護者

本当はもっと同級生が居たはずだったが、うわさ話でみんな東小に行ってしまう。

市長

東小と一緒にするというのも現段階で確定していない。

保護者

うわさ話が広まってしまい豊田小に入ればいいのに東小に行ってしまう。

保護者

17人になった時点でやっていたらよかったのに。その後に入ってきて増えた。

保護者

最初に人数が減った時点でやめればこんなことにはならなかった。

市長

川崎小に先週行った時にも、どうなるのか？という話になったので、資料を使って説明する。統廃合は小中学校だけとか、豊田小だけをターゲットにしているのではなく、これから人口減少社会に入っていく中で、矢板市内の公共施設を全体的に減らしていかないと財政がもたないというようなこと。これは、矢板市だけではなく、全国の地方自治体が公共施設再配置計画とか総合管理計画とかそういった計画を作るといって国から言われ、基づく形で作業を進めているところ。簡単に言うと、市内の公共施設40%を今後30年間で減らさない、減らさないと言っている。矢板の財政がもたないよというようなことが平成29年3月の公共施設総合管理計画で示された。この40%減らすのは数ではなく、施設の床面積ベースの計画。

矢板市の施設で多いと言われている1つは市営住宅。人口100世帯辺りの管理戸数は栃木県内で一番多い。その一方で民間アパートは空き室が目立っていると思うが、非常にアンバランスな数になっている。あと、多いのが小中学校で、人口の割に数が多いと言われている。先ほど話したエアコンやトイレの洋式化が遅れていたのは、学校の数が多いとこと。取り付けようとするとお金がかかる。今回、今年の夏が暑かったので財政的には痛んでいるが一斉に取り付けた。市内小中学校の運営コストでは、矢小や東小に比べると維持管理のコストがかかるのが豊田小の校舎や体育館やプールなど。文部科学省の公立小中学校の適正規模適正配置等に関する手引きが平成27年1月に60年ぶりに改正されたが、小学校は、1学年2学級以上。中学校は1学年3学級以上という方針が出された。1学年2学級以上の理由としてはいじめの問題など。1学年1学級だと相性の悪い友達とは6年間同じクラスになってしまう。中学校の1学年3学級以上とは、

1つの学校に9学級という考え。中学生になると教科担任制となることから、泉中学校のように1学年1学級しかない、先生が揃えられない。例えば、免許外指導、副担任、非常勤などが教えることとなるので、これはよろしくない。最近の状況としては、小学校高学年についても教科担任制を導入するという話も文部科学省で議論されている。

公共施設再配置計画は平成30年3月にできたが、40%減らすために豊田小学校は閉校の対象となったが、お金だけの話なので、教育面や地域の人々の意見を聞くために、昨年度、小中学校については小中学校適正配置検討委員会をつくり、地元の行政区の代表やPTAの役員、市立幼稚園連絡協議会保護者会の会長や保育所保育園連絡協議会の会長などに入ってもらい検討した。その答申が今年3月に市長に提出となった。答申で豊田小は東小に統合される形。東小には川小学区のJR宇都宮線の東側と安沢小のうち矢板中へ進学する中地区、それと豊田小が一緒になる方向性が示されている。これをどういう順番でやっていくか、これが本当にいいのかなど、具体化するための計画を教育総務課で作っている。これでいいのではと思うかもしれないが、例えば、片岡地区の統廃合は小中一貫校。小中一貫校にするなら、どこの校舎を使うのかを決めないといけない。また、泉小は他の公共施設との複合化となっているが、どこと一緒にするのかなど。東小についても子どもの数は減っているが、これを全て入れたら、教室が溢れてしまわないかとか、いろいろ検討しないとけない。

保護者

どこに行くかは自由に選べないのか？

市長

今は選べない。

保護者

選べないけど理由があれば行ける。

市長

理由は結構厳格になっている。やりたい部活が無いからとかはダメだと思うが。

保護者

行ける。

市長

私が市長になる少し前からかなり厳しくなっている。

保護者

なぜ行けたのか？

保護者

距離が東小に近いから行くと言って融通聞いて転校した子がいる。1メートル位しか離れていない隣は豊小に行っている。下の子が今度1年生に上がるから東小に入れたい。

保護者

うちの下の子が来年1年生だが、当初はいっぱいいたが、少なくなってしまったと聞いた。東小にみんな行ってしまおう。

保護者

この話は確定されていないのに。

市長

ゆくゆく東小に統合されそうだから認めるというのは無い。

保護者

じゃあ、どういう理由で？

市長

既に学区制が緩かった時点で、東小に行っている兄弟がいるのが理由としては一番多いと思う。

保護者

例えば、豊小があと何年か後になくなった時にスクールバスが出ると思うが、

市長

ハッピーは分からない。みなさんご存じか分からないが、ハッピーハイランド矢板行政区からは行政区の総意として、東小の学区へ入れてくれという要望書はもらっている。場合によっては、ハッピーだけ切り分けて東小学校へというのは一足早いかもしれない。

保護者

でも、歩いて行ける距離だから。

市長

西小の例では、小学校の統廃合になったところは2km無くてもバスを出した。幸岡辺りは2kmないが、バスが回っている。

保護者

でもそれは廃校になった小学校に最後まで居たから？

市長

居れば。そこは調整しなくてはいけない。

保護者

そうすれば流出が止められる。

市長

西小がやったから豊田小も同じというつもりはないが、保護者の方でローカルルールを作ってもらわなくてはいけない。

保護者

現状よりも、市にはいつになるか示してもらい、ゴールが決まったら良いゴールになるように保護者が考えて行くのが一番いいのではないのかと思う。閉校は寂しいことなので。

保護者

閉校式みたいなものはあるのか？

保護者

そういう予算を要求して閉校記念式典の。

市長

豊田小は西小と違うところは、西小は昭和47年に出来て歴史が浅い。

保護者

小学校自体が？校舎がではなくて？

市長

今の行政区長レベルの年代は、西小の卒業生がいない。ただ、豊田小学校の場合はたくさんいるはず。

保護者

お年寄りの話を聞いていても、ゆくゆくはなくなる。

市長

西小の放課後子ども教室が集まらなかったのと豊田小の放課後子ども教室が集まったというのは、そういう気持ちの強い人がいるのではいかということ。

保護者

気持ちが強いからといってお金がどうにかなるわけでもない。

市長

西小とは違うアプローチの仕方を矢板市としてもいずれ考えて行かなくてはならないと思う。一番大切なのは子どもだと思うので、小さい学校ですっとこのままでいいかと言うとどうなのかと。豊田小の子どもが矢板南ファイターズに入っていて、県大会で準優勝したが、豊小では野球チームが作れないので行かないといけない。どう送迎していたかは知らないが、多分、負担掛かりながらやっていたと思う。

保護者

無くなることに文句はない。ただ、いつなのか？

保護者

私たちが決められるわけではない。親の世代の負担からしたら小規模校だと大変。

保護者

大変だけど、うちの子みたいな子は豊田だからやっていけた。東小とかではやっていけなかったと思う。

保護者

1年生から6年生まで、みんな一緒に豊田っ子総会とかいいとは思いますが。

市長

年度の区切りもある。西小の例で言うと最短で2年。

保護者

2年？6年生で転校はきつい。

市長

2年がいいのか2年だと厳しいから3年は必要。西小は早すぎたと言われた。

保護者

それで卒業できない世代の子達は転校させる？残す？

市長

最後の卒業式はどうか？

保護者

最後の卒業式兼閉校式にすればいい。

市長

心情的に、最後の卒業式兼閉校式の際、6年生しかいないのは6年生の立場としても

どうなのか？

保護者

私とその年代で小さい子がいたとしたら、閉校まで豊小に居させようと思う。そういう親も絶対居る。

市長

います。西小の場合にも、矢小に行っていていいと言った際にも6～7人いて、1人だけは1人でもいいと言って西小に入った。

保護者

西小の子が矢小に来て、結構、嬉しそうだった。部活動は選べるし。子どもはいっぱいいるし。

保護者

幼稚園で一緒だった子にも会えるし、全く知らない子の中に入って行くわけではない。

保護者

市のバスケとか、サッカーで一緒だった子とか。

市長

今の教育長が気を遣ったのが、一緒になる前に交流授業などの工夫はした。

Q 5

市長

成田、豊田、沢の子ども会育成会は元気なのか？

保護者

沢は結構、ちゃんとやっている。

市長

沢は一生懸命。生き物調査にしても。仮に豊田小が閉校になったときには、この矢板の東部地区の枠みたいなものはスクールバスで一緒に乗っていくと思うので、そこはそこで子ども達のコミュニティみたいなものは再編成しないといけないと思う。成田、豊田、沢、ハッピーは分からないが、それは市役所で少しお金を出して子ども会育成会を再編成して、しっかりと地域の絆は。スクールバスと一緒に乗っていくから友達の一定関係は作って行けると思うが、小学校はなくなっても地域の絆みたいなものを再構築する手伝いは矢板市としてもしないといけないと思う。

保護者

結局、私たちが豊田と沢と成田の行政区が3つあり、そこから負担金やなんや

市長

そこを整理しないといけない。行政区単位で明治以前の村単位なので、神社のお祭りだってそれぞれあると思う。その辺りはこれからおおくりにしていけないと。矢板東部地区の行政区の関係だけではなくて、統一的なルールを作ってやっていかなくてはと思う。小中学校の適正配置は、みなさんも疑問に思われていると思うが、作っている最中。事務作業をやっている中で、豊田小の児童数を東小へ統合する分には余裕がある。豊田小は早いグループだと思う。他に川崎小とか泉中学校。

保護者

廃校になるのが？

市長

はい。多分。障害あるすれば安沢小など。安沢小については、校舎が新しいので平成30年3月の公共施設再配置計画では残っていたが、適正配置委員会では人数が少なく、クラス替えも出来ないからダメだという話になった。逆に残ったのが泉小。泉小は児童数とか老朽過度からするとなくなってもおかしくなかったが、泉地区についてはご存じの方がいるかも知れないが、平成20年度、今から10年前に泉地区の小学校の大統廃合を行った。統合したのにまた？という話もあり復活した。ただ、泉小の校舎が一番古い昭和44年の校舎なので、これをどうするか。

茂木町の例だが、中学校をなくして小学校の子どもを入れた。しかし文部科学省の基準で小学校と中学校では、階段の高さや水道の高さの基準がことなるので、茂木町ではお金をかけて直した。そう考えた時、泉小は泉中を先に廃校にして、そこに入れるという話もあったり、知恵を絞らなくてはならない。

保護者

多分、みんなそう思っているから1年生を入れないでどこかに行ってしまう。

市長

それはちょっとおかしい。噂だけで学区外は無いようにはなっているはず。正式には何も決まっていないので、正式にやるとなったら保護者全員に案内を出してという話になってくる。雰囲気だけで別の学校へ行ってしまおうというのは良く確認をするが、数年前とは違って厳格になっている。これは豊田小と東小という関係だけではなくて、例えば、乙畑小と片岡小の関係だったり、川小学区だが東小に行きたいという話だったりも厳格になっている。

保護者

でも行けている。ハッピーの人が東に行くのは分かる。

市長

兄弟が行っているとかでなければダメ。

保護者

ハッピーはぐちゃぐちゃ。あっちに行っている子こっちに来ている子。

市長

建議では東小と言っているが、仮にスクールバスを出すとしたら、東小でなくてはダメか？

保護者

行けと言うところに行く。

保護者

安沢小でもいい。東小だと満杯で35人で先生一人とか、それだと今までは十数人で良く見てくれたのに目が行き届かないのなら泉の方に行ってしまうとか。

市長

矢小の方が校舎は新しいし、余裕がある。スクールバスもまだ1台で収まるか分から

ないが、2台だったら土屋方面から行っているの、土屋・沢で1台。豊田・成田でという話になれば子ども達もスクールバスに乗っている時間が短くて行けるのでは。

保護者

そうすると、育成会が11ブロックでは作れない。

市長

それがなかなか難しい。逆に土屋は入れられるのか？

保護者

別に大丈夫だと思う。土屋の方で入れてくれと言え

市長

土屋も多分育成会はない。生きている育成会がほとんどない。子ども会育成会をおおくりにするなど、親御さんの負担が重いというなら、何らかの形で減らす努力もしなくてはいけないと思う。できるだけ、簡素化できる余地はあると思う。ただ、難しいのは各行政区ごとにお祭りがあると思うが、沢・成田・豊田のお祭りをするのは難しい。

保護者

お祭りに出るかでないかは、その育成会の判断で。

市長

育成会の判断で出来れば出てほしい。各地区いろいろあると思うが、小学校は地域社会のシンボルと言われ、そこに思い入れの強い人がいる。ただ、西小の統廃合について思ったのが、地域社会のシンボルだということと、子ども達にとって何が一番重要なのかということ考えた時に、ある程度わけなくてはいけないと思う。小規模校過ぎると子ども達にとってプラスではないのではという思いと、地域社会のシンボルだと、絆の象徴だといっている方達に対してもある程度答えなくてはいけないと思う。その為には保護者のみなさまにもある程度ご協力いただきたいと思う。そこに変わりえる何かまつまりみたいなものを作るお手伝いを市役所としてもやらなくてはいけないと思う。

保護者

学校がなくなれば地域性は完全になくなる。統廃合をして、豊小単位でなくなればどんどん薄れていく。

保護者

悲しい。田舎だから楽しい。

市長

そう言った中で、ハッピーハイランドとか木幡の土地整理の事業地というのは同じ班、隣同士でも違う小学校に行ってしまうたりする。そういうのは止めたいと思うし、更に言えば申し訳ないが1学年残って閉校式、ある程度のところまでは地域の絆。まとまって行くような形で豊田小のあり方を検討してもらえればと思っている。

保護者

上が決めたことにこちらも従うというがあるので、家庭によっていろいろあると思うが、矢板に住み続けるためにはいいと思う。

市長

いろいろ気持ちはあると思うが、これはまだ正式に決まったのではないのというのと、

ハッピーハイランド矢板行政区をどういう風に位置づけるのかというのは豊田小ならでは。

Q 6

保護者

シャープの跡地はどうなったのか。

保護者

あそこに娯楽施設をつくってもらいたい。コストコとか。

Q 7

保護者

お願いがあるが、卒業式と入学式の挨拶で、市長・校長・教育長・議長とPTA会長とあるが、減らせないのか？市の方は市長が挨拶をし、もしくは教育長が市長代読とかにはならないものか。

市長

譲れないのは校長先生とPTA会長。

保護者

PTA会長はなくてもいい。その分、10分、15分でも子どものセレモニーにふってあげた方が有効活用できるのでは？

市長

減らすとしたら、教育委員会だめですか？教育委員会と市執行部。市長が一番えらいと思っているかもしれないが、教育委員会が一番えらい。

保護者

子ども達に余計だと思う。呪文の様に聞こえていると思う。

Q 8

市長

豊田小ならではのテーマは何かあるか？

保護者

ランチルームにエアコンが欲しかった。

保護者

PTAでも使っている。

保護者

ランチルームで給食を食べるのに、暑くてエアコンがないのはかわいそう。

市長

なるほど。西小はランチルームないが、放課後子ども教室は扇風機だった。

保護者

15時過ぎだからというのはあるかもしれないがやっぱり暑い。

市長

小中学校の適正配置関心が高かった。もう少し他の分野で話をしたかったと言う方がいたかもしれないが時間なのでこれにて意見交換を終了させていただきます。

6 閉 会 21:00